



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY



東北大学
TOHOKU UNIVERSITY



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY



科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業
連携型博士研究人材
総合育成システムの構築

CONTENTS

●三大学のさらなる発展に向けて	3
運営協議会委員長 山口 淳二	
●三大学協調による若手研究人材育成をめざして	4
東北大学 理事・副学長 小谷 元子	
●人材育成コンソーシアムの設立から成果創出へ	4
名古屋大学 副総長 杉山 直	
●事業についての説明	5
1. 次世代研究者育成プログラム	6～9
北海道大学 人材育成本部 教授(コーディネーター) 出村 誠	
2. イノベーション創出人材連携育成プログラム	10～19
北海道大学 人材育成本部 特任教授(コーディネーター) 吉原 拓也	
●連絡先	20



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY



東北大学
TOHOKU UNIVERSITY



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY

2021年度 コンソーシアム事業（北海道大学・東北大学・名古屋大学） シンポジウム



連携型博士研究人材総合育成システム

日程未定 北海道大学・東北大学・名古屋大学
連携型博士研究人材総合育成システム
シンポジウム 2021年(場所未定)

2021年度 イノベーション創出人材連携育成プログラム 各大学イベントスケジュール



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

2021年度
イベントスケジュール

4月～7月	キャリアマネジメントセミナー(MOT 関連)
6月下旬	キャリアパス多様化支援セミナーⅠ
7月中旬	キャリアパス多様化支援セミナーⅡ
7月中旬	キャリアパス多様化支援セミナーⅢ
7月下旬	Advanced COSA(1)
8月上旬	Advanced COLA
9月上旬	第46回赤い糸会のためのプレゼンテーション演習
9月下旬	第46回赤い糸会(札幌)
10月上旬	ビジネスマナーの基本と実践
10月中旬	第47回赤い糸会のためのプレゼンテーション演習
10月下旬	第47回赤い糸会(札幌)
11月上旬	ビジネスコミュニケーションセミナー
11月中旬	第48回赤い糸会のためのプレゼンテーション演習
11月下旬	Advanced COSA(2)
11月下旬	第48回赤い糸会(札幌)
1月中旬	第49回赤い糸会のためのプレゼンテーション演習
2月上旬	第49回赤い糸会(東京)
2月上旬	企業事業所視察(道外)
3月上旬	博士インターンシップ体験報告会



東北大学
TOHOKU UNIVERSITY

2021年度
イベントスケジュール

5月中旬～7月上旬	イノベーション創発塾(前期)開講
6月上旬	インターンシップセミナー
7月中旬	キャリアセミナー
10月上旬～12月上旬	イノベーション創発塾(後期)開講
10月下旬	ジョブフェア



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY

2021年度
イベントスケジュール

4月～3月	毎月1回程度 大学院生のためのキャリアガイダンス
5月～2月	毎月1回程度 B人セミナー
9月初旬	企業と博士人材の交流会
8月～3月	6回程度 博士のキャリアパスウェビナー



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

三大学の さらなる発展に 向けて



『連携型博士研究人材
総合育成システムの構築』事業

運営協議会委員長

北海道大学 理事・副学長

山口 淳二



北海道大学は、文部科学省が平成26年からはじめた「科学技術人材のコンソーシアムの構築事業」の下で、東北大学、名古屋大学と協働して博士研究人材育成を目的としたコンソーシアムを立ちあげ、連携プログラムの開発と若手研究人材育成に取り組んでまいります。

人材育成の仕組みは短期間で構築できるものではありません。私たち三大学の強みは、これまで高い評価を受けてきた人材育成事業でのノウハウの蓄積があることです。各大学が独自に築いてきたしっかりとした仕組みがあるからこそ、コンソーシアム事業で連携することにより、一層の相乗効果が得られています。これら三大学の強みを活かして、任期付き助教および博士人材（PD・DC）を対象とする科学技術人材育成プラットフォームの構築、そして次世代を担う科学技術人材の育成に取り組んできました。振り返りますと、これまでの6年間の活動により私たちが得たものは大変大きなものですし、またそのような成果はひとつの大学の活動だけで成し遂げられるものではなかったと思います。

本事業は、任期付き助教等を対象とした「次世代研究者育成プログラム」とPD・DCを対象とした「イノベーション創出人材連携育成プログラム」の2種類のプログラムで構成されています。「次世代研究者育成プログラム」は、若手研究者のためのセミナー等の相互利用はもとより、交流活動推進、多様な支援制度、認定制度、ファシリティーの相互利用など多岐に渡っており、若手研究者のための充実したプラットフォームが構築され、その結果として三大学の連携をより一層強固なものとしてきました。一方、「イノベーション創出人材連携育成プログラム」は、博士人材の育成を地理的な距離や組織の壁を越えて協力する仕組みを構築したものです。これは国公私立12大学が連携する活動へと発展し、今回のコロナ禍のような状況においてもより一層柔軟に機能しています。

将来を担う若手研究者育成のために、今後も三大学の連携活動に取り組む所存です。皆様の変わらぬご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。



東北大学

TOHOKU UNIVERSITY

三大学協調による若手研究人材育成をめざして

東北大学 理事・副学長（研究担当）

小谷 元子

科学技術人材育成のコンソーシアム構築事業は、「複数の研究機関が連携してコンソーシアムを形成し、若手研究者や研究支援人材に対して、流動性を高めつつ、安定的な雇用を確保するために、国内外の研究機関、企業等とも連携してキャリアアップを図る仕組みを構築し、海外や企業を含めた多様な場で活躍する研究者と高度な研究支援人材を育成することを目的とする」もので、平成26年度から8年間の事業プログラムです。

東北大学では、既に学位プログラム推進機構学際高等研究教育院において修士・博士研究教育院生を学内から公募・選抜し、若手研究者として育成するシステムが確立し、併せて博士後期課程学生やPDを対象として、高等大学院機構・大学院改革推進センター内の博士人材育成ユニットにおいてイノベーション創発人材育成プログラムが進行中です。加えて、学際科学フロンティア研究所においては、国際公募によって若手研究者（助教）を募り、令和2年6月現在で50名が活躍中です。これらの学内における若手研究者のキャリアアップ支援システムは、今般のコンソーシアム構築事業と主旨を同じくするものであります。北海道大学、名古屋大学と連携を組むことにより、各大学のもつ強みを生かし、かつ相互に補完することによって、研究人材育成環境がさらに改善されるものと期待しております。

また、本プログラムに参加される若手研究者の皆さんには、長期海外研修、国内他大学における研修などの恵まれた研究並びに事業環境を活用し、自分のスキルアップを図り、世界に羽ばたく研究者として成長されんことを期待しております。

今後の本プログラムの発展・展開に向けて皆様のご理解・ご協力・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



名古屋大学

NAGOYA UNIVERSITY

人材育成コンソーシアムの設立から成果創出へ

名古屋大学 副総長（筆頭、統括・研究担当）

杉山 直

本学が、北海道大学・東北大学とコンソーシアムを設立し、三大学が保有する充実した研究環境および人材育成のための資源を共有して人材育成プラットフォームの構築をめざし、本年度で8年目になります。海外派遣や共同研究、インターンシップやキャリアパス支援、雇用期間の保証と流動性を促す仕組みを確保することにより、文系理系を問わず、次世代研究者やイノベーション創出人材を育成してきました。本コンソーシアム事業における取組みは、名古屋大学が人材育成目標として常に掲げる「勇気ある知識人の育成」にも合致したものです。

本コンソーシアム事業における名古屋大学の取組の特色は、次世代研究者育成の対象者を、本学が実施してきたYLC（Young Leaders Cultivation）プログラムで採用された特任助教からS-YLC特任助教として選抜していることです。YLCは、本学の教育研究の継続的な発展のため、助教クラスの優秀な若手教員を継続的かつ計画的に採用、養成するプログラムであり、その中から本コンソーシアムに参加することで、S-YLC特任助教は、自立的研究環境の構築と着実な研究始動、さらに新たな研究ネットワークの構築が可能となります。本事業の成果として、他大学へ研究主宰者（PI）として転出する教員も出てきています。また、イノベーション創出人材の育成においては、三大学で共有するキャリアパス多様化支援プログラムにより、個別面談、セミナー、企業等へのインターンシップ派遣を通じて異分野・異文化コミュニケーション能力を育み、博士人材のキャリア開拓を支援しています。

本コンソーシアム事業のもと、北海道大学、東北大学及び名古屋大学の若手研究者が、三大学内での共同研究を推進すると共に人脈を広げ、さまざまな分野で国際的に活躍してくれると大いに期待しております。若手研究者にとってこのコンソーシアムを通じて築いたネットワークは一生の財産となり、その後の研究生生活の強い礎となるものと確信します。

1. 本事業について

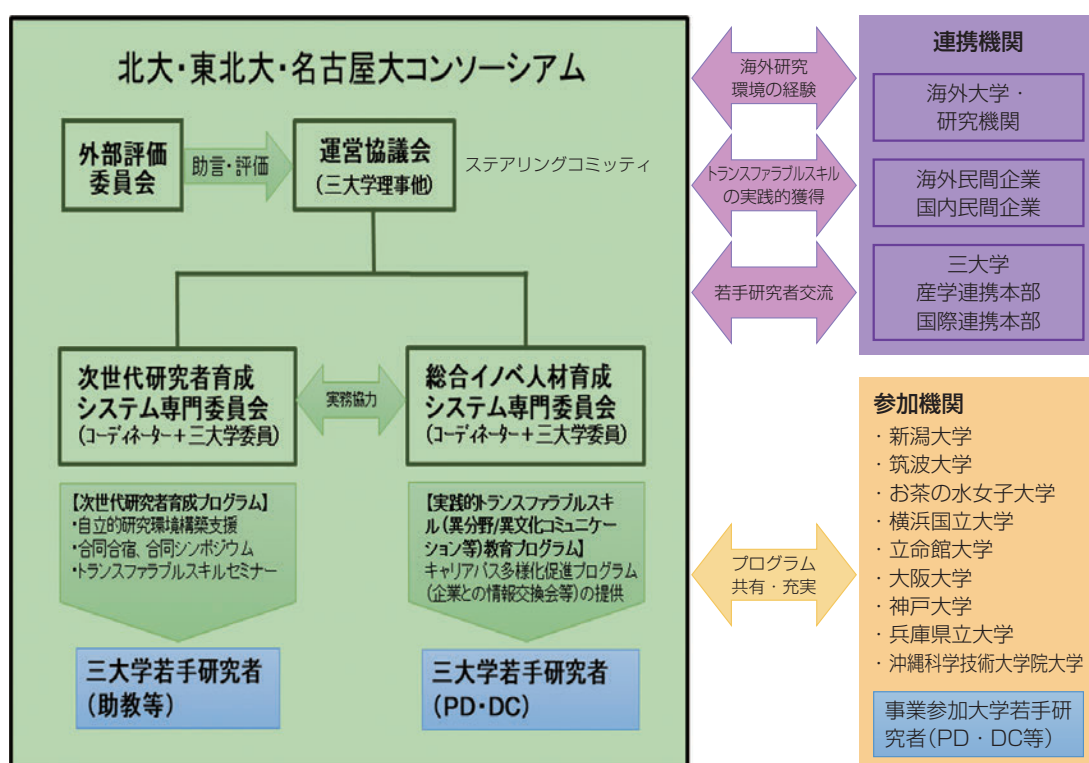
本事業は、北海道大学が代表機関として東北大学、名古屋大学とともに文部科学省「科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業（次世代研究者育成プログラム）」に申請・採択され、平成26年度にスタートした事業です。発足以来、三大学が「コンソーシアム」を形成し、互いの研究人材育成資源を結集して、多様な分野を対象にした次世代研究人材育成システムの構築を推進しています。

2. コンソーシアムの構想

我が国を代表する総合大学3校によるコンソーシアム、外部評価委員会、および研修先としての連携機関（海外連携大学・研究機関及び国内外の企業等）が一体となり、三大学が保有する充実した研究環境および人材育成のための資源を共有することで、博士研究人材が多様なキャリアパスを選択できる共通の科学技術人材育成プラットフォームを構築しつつ、流動性を促進する仕組みを担保しながら、次世代を担う研究者連携育成システムを構築します。今後も持続的に三大学が持つプログラムの共有・共催・参加枠提供などを推進し、コンソーシアムのさらなる充実を目指します。

3. コンソーシアムとしての人材育成の方針と理念

三大学が、これまでの研究および人材育成に関するノウハウの蓄積と資源を効果的に共有し、若手研究者の自立的環境における専門性の深化を一層促進させるとともに、国内外の多様な場においてその真価を発揮するための素養、即ち、国際性とトランスファラブルスキルを備えた次世代を担う科学技術人材の育成を行います。また、原則5年という比較的長期の育成期間を設定し、研究者として必要な基盤的素養を多角的に身につけることを促します。本事業は、任期付き助教等を対象とした「次世代研究者育成プログラム」とPD・DCを対象とした「イノベーション創出人材連携育成プログラム」の2種類のプログラムで構成されています。





次世代研究者育成システム専門委員会 コーディネーター
北海道大学 人材育成本部 副本部長

出村 誠 教授

次世代研究者育成システム専門委員会では、人材育成に経験豊富な三大学の委員が集まり、若手研究者のキャリアアップを目的とした育成・支援システムの構築に取り組んできました。これまでの活動により三大学が長年培ってきた人材育成システムを相互利用する仕組みの構築や若手研究者のための新たな育成・支援策により連携のシナジーを生み出すことができ、充実した育成・支援システムに発展させることができました。

本事業に参画する若手研究者(任期付き助教)は、次世代のリーダーとしての素養を育成するための研究支援制度に応募することができます。育成期間においては三大学の育成プログラム・セミナー等、自分のキャリア設計に適したプログラムに参加していただきます。さらに、合同合宿等を通じた異分野・異文化交流活動に参加し、研究者として活躍するための多様な経験を積みます。本専門委員会は育成対象者のプログラムへの参画状況や成果、及び、PI(研究主宰者)としての素養を評価し、所定のレベルに到達した者に対して三大学理事もしくは副総長名の認定証を交付してきました。

三大学連携のシナジー効果をもっとも発揮できた活動として合同合宿に代表される交流活動が挙げられます。所属機関や研究分野が異なる若手研究者が一同に会し、非日常環境に身を置いて自由な雰囲気の中で交流することにより、フレッシュで新たな発想を生むことにつながりました。これをきっかけとして所属機関を越えたコミュニティーが形成され、研究に留まらずさまざまな情報交換や議論が行われていることは大変意義のあることと考えています。2020年度はコロナ禍で対面交流が制約される中、オンライン合同合宿という新スタイルでの課題解決の実行力が試されることにもなりました。また、プログラムに参画する若手研究者は育成対象であると同時に事業のステークホルダーとしての役割も期待され、専門委員との懇談等を通じて事業運営にも積極的に関与してきました。彼らのフィードバックや提案が本コンソーシアムのプログラムの改善につながったことは特筆すべきことです。

文部科学省の補助事業の支援は2018年度で終了し、2019年度からは三大学は自主経費で本コンソーシアムの運営を継続しています。連携の在り方に関するさまざまな議論を経て三大学の専門委員の間では本事業の意義を完全に共有化しており、2021年度も協力してプログラムの運営に取り組む方針です。



北海道大学
人材育成本部
山田邦雅 准教授



東北大学
学際科学フロンティア研究所 所長
早瀬敏幸 教授



東北大学
学際科学フロンティア研究所
才田淳治 教授



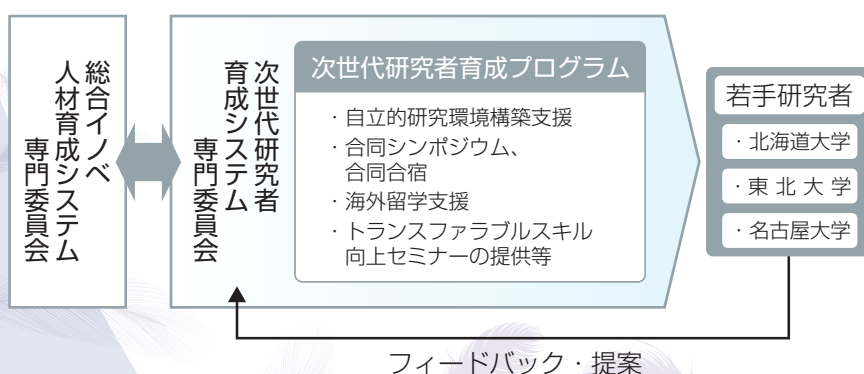
名古屋大学
国際高等研究機構 高等研究院 院長
人文学研究科
周藤芳幸 教授



名古屋大学
国際高等研究機構 高等研究院 副院長
生命農学研究科
榎原均 教授

次世代研究者育成プログラムの概要

運営協議会(北海道大学・東北大学・名古屋大学)



次世代研究者育成プログラムの概要

次世代研究者育成プログラムは三大学の任期付き助教等を対象とした育成プログラムです。本プログラムは、北海道大学、東北大学、名古屋大学に所属する人材育成経験の豊富な教員により構成される次世代研究者育成システム専門委員会が企画と運営を行います。

[若手研究者のキャリアアップ]

評価認定制度

- 中間評価、最終評価
- 認定証発行
(三大学理事・副総長名)



異分野・異文化交流

- 三大学若手研究者による
合同合宿
- 合同シンポジウム



プログラムの企画運営

次世代研究者育成システム専門委員会

PI育成プログラム

- トランスファラブルスキル
向上セミナーの提供



研究支援制度

- 共用機器利用支援システム
- 滞在型研究支援システム
- 共同研究支援制度



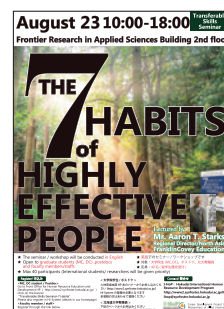
活動実績 (2014～2020年度)

プログラムに参画した 若手研究者数	87名 研究分野を限定せず 各年度採用人数 (2014年度:5名、2015年度:10名、2016年度:11名、2017年度:10名、2018年度:10名、2019年度:19名、2020年度:22名)
認定証発行者数	42名 (2014年度採用:5名、2015年度採用:10名、2016年度採用:9名、2017年度採用:8名、2018年度採用:10名)
テニュア職を獲得した研究者数	20名
合同シンポジウム(参加者数)	7回(850名) (2014年度:111名、2015年度:126名、2016年度:135名、2017年度:115名、2018年度:127名、2019年度:100名、2020年度:136名)
合同合宿(参加者数)	5回(144名) (2016年度:19名、2017年度:26名、2018年度:32名、2019年度:25名、2020年度:42名)
留学実績	21ヶ国79機関
トランスファラブルスキル 向上セミナーの延べ受講者数	190名

次世代研究者育成プログラムの 内容紹介

〔トランスファラブルスキル向上のためのセミナー〕

トランスファラブルスキルとは、課題発掘力や解決力などの対課題スキル、自己管理スキル、コミュニケーション能力等の対人スキルなどを総称し、業種・業界、業務の内容等を超えて応用可能な汎用性の高い能力のことを指します。事業に参加する三大学の若手研究者はトランスファラブルスキル向上のために三大学のセミナーの中から自分に適したプログラムを受講することができます。



参加者の声 北海道大学 石田 洋平 助教

若手研究者の皆さんは大学研究者としての熟達には日々の研究能力に加えてさまざまなスキルが必要と感じる場面があると思います。三大学が提供するトランスファラブルスキルセミナーは近い将来、若手研究者がPIとして自立するために必要な能力を身に着けるために役立ちます。多分野の研究者との議論や多様なセミナー等を通じ、自分自身の能力に磨きをかけたいと考えておられる方にはとても有意義なシステムです。



〔若手研究者による合同合宿〕

日常とは異なった環境で、さまざまな専門分野に取り組む三大学の若手研究者が集い、アイデアを出し合います。自分一人の知識では成し遂げられないような新たな発想が生まれ、研究費獲得につながることもあります。



参加者の声 東北大学 常松 友美 助教 ※2018年度合宿リーダー

2018年度は、「サイエンスの議論」をテーマに、異分野の育成対象助教によるグループディスカッションを通じて、個々の研究に役立つ新奇な視点を獲得するだけでなく、異分野間の研究連携の構築促進することを目的としました。

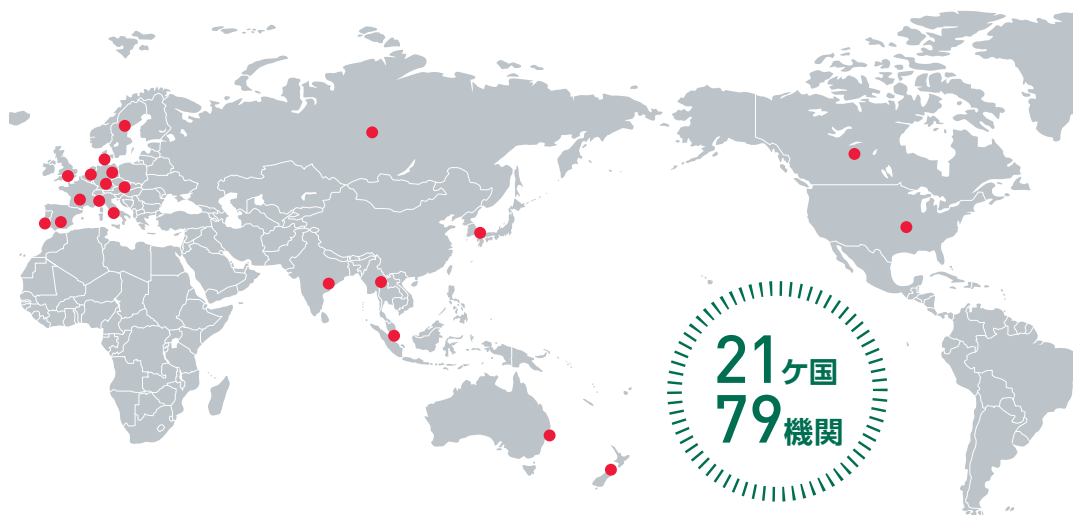
つまり、簡単に言うと、この育成対象助教メンバー間で、どのような学際研究が可能であるか？ということ、自由に話し合ってきました。知的好奇心に駆られ、柔軟な発想のもと、サイエンスを楽しみながら、学際的共同研究を進めていくことができました。



[留学支援制度]

若手研究者の国際ネットワーク構築支援の一環として、本事業では育成期間中に海外留学を必須とし、その経費等を支援してきました。2014～2019年度までの留学先の実績は以下のとおりです。なお、本制度は2018年度採用者までが対象です。

アメリカ 22名、 イギリス 16名、 フランス 9名、 オーストラリア 7名、 他多数 (延べ人数/2021.3.31時点)



参加者の声 名古屋大学 佐藤 和秀 特任助教

本支援により、企業やアカデミアの研究者との共同研究を通じて、新規事業の開拓にもつながるような協力体制を確立することが可能になったほか、留学先の研究を取り巻く様々なシステムを学ぶことができ、今後PIとして活動するに当たり大いに参考となる知見が得られました。本支援に感謝します。
(H30留学報告より抜粋)



「次世代研究者育成プログラム」の 今後の取り組みについて

2019～2021年度の次世代研究者育成プログラムは、三大学若手研究者の異分野・異文化交流イベントや研究支援制度、育成プログラムの提供を中心に取り組みます。

1. 三大学若手研究者の交流イベント

合同シンポジウムは三大学の若手研究者交流の要となるイベントであり、年一回開催予定です。開催予定は以下のとおりです。

2021年10月27日 東北大学(オンライン開催予定)

合同合宿はさまざまな専門分野に取り組む三大学の若手研究者が集い、日常とは異なる環境でそれぞれの研究課題を共有しアイデアを出し合う場です。合同合宿は合同シンポジウムと合わせて毎年開催予定です。

2. 研究支援

三大学の若手研究者による共同研究の支援を継続します(共同研究費の支援等)。また、共用機器利用支援(学内料金の適用)、滞在型共同研究支援(宿舎利用)の制度を継続します。

3. トランスファラブルスキル向上のためのセミナー

本事業で構築した三大学のトランスファラブルスキル向上セミナーを相互利用する制度を継続します。

2. イノベーション創出人材 連携育成プログラム



総合イノベ人材育成システム専門委員会 コーディネーター
北海道大学 人材育成本部 特任教授
吉原 拓也

【イノベーション創出人材連携育成プログラム】の趣旨

本事業ではアカデミアにおける優秀な研究人材を三大学で協働して育成する目的に加えて、より若い世代の博士課程学生 (DC) や博士研究員 (PD) に対するキャリアパス多様化促進に資する各種プログラムの、連携型への移行と発展を推進してまいりました。

DCやPDはアカデミア志向、つまり研究者として生き抜く場所は大学等のアカデミア機関しかないとの思いが強くなる傾向があります。しかし、産業の高度化、企業活動のグローバル化に伴い、DC・PDは産業界でも従来以上に求められるようになりつつあります。

彼らDC・PDが視野を広く持ち、獲得した知識やスキルを如何なく発揮できる分野へ積極的に打って出るためには、産業界などアカデミア以外で挑戦しようという彼ら自身の意識改革への取り組みと、そのような活躍の場に関する正確な情報の提供が必要であることは明白であります。

過去数年にわたり、連携する三大学では文部科学省の支援を受けながらそれぞれが独自にDC・PDに対する意識改革の取り組みや情報およびマッチングの場の提供など、育成のプログラムを構築し推進してきました。それにより多くのDC・PDが海外を含むアカデミア以外の民間企業や研究機関において、その活躍の場を見出し獲得し、実績も上げ始めています。しかしながら各大学単独での施策には経費面や要員面での制約はもとより、各大学の立地や在籍するDC・PDの属性の特徴など、個別の条件も重なって、多方面での施策の展開にはおのずと制約が出てきます。

このような制約を超えた施策を実施するため、本事業では連携する三大学の持つそれぞれ特徴のある有益なプログラムを継続して共同開催、参加枠提供、相互乗り入れや配信などの手段を用いて共有化し、お互いの施策を補完します。またさらに、現在は三大学だけではなく、この取り組みに賛同する他大学 (新潟大学・筑波大学・お茶の水女子大学・横浜国立大学・立命館大学・大阪大学・神戸大学・兵庫県立大学・沖縄科学技術大学院大学) も参画を始めており、プログラムはますますその充実度を上げているところです。

【イノベーション創出人材連携育成プログラム】の概要

①育成内容

三大学が開発してきた若手研究者 (DC・PD) に関する独自の人材育成プログラム (企業を知るためのセミナーや企業等との密接なマッチングシステム、データベース等) を連携させ、コンソーシアム内で若手研究者が自由に参加できる仕組みを構築し、育成対象者にはこれらのプログラムへの参加機会を与えるとともに、多様な企業等でのインターンシップ実施を支援します。

②募集・選考・採用

育成対象者は、特にアカデミア以外でのキャリアパスを志向し、意識高く情報を収集しようとする若手博士研究人材を対象に、公募・推薦等により募集し、コンソーシアムにおいて決定します。詳細は以下参照。



東北大学：工藤成史特任教授



名古屋大学：森典華特任准教授



北海道大学：出村誠教授

【協働して実施する各機関のプログラム】

- 北海道大学：人材育成本部
上級人材育成ステーション (S-cubic)
<http://www2.synfoster.hokudai.ac.jp/S-cubic>
- 東北大学：高等大学院機構大学院改革推進センター
博士人材育成ユニット
<https://pgd.tohoku.ac.jp/phdc/>
- 名古屋大学：博士課程教育推進機構
キャリア教育室
<https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/>





連携型博士研究人材 総合育成システム

参加機関を含めたイノベーション創出人材連携育成プログラム全体の活動

3大学が連携する仕組みが整った2016年度から、そこで得られた人材育成のノウハウをより多くの機関と共有し、さらに発展させる活動を開始しました。その結果、2019年度までに9大学が参加機関として加入し、12大学が連携して主に博士人材を育成するコンソーシアムとなりました。12大学で2017年度に授与された課程博士の学位は3,159件で日本全国の授与数の約24%に達します。12大学の構成およびそれらによる活動内容は以下のとおりです。

■12大学の構成

代表機関：北海道大学

共同実施機関：東北大学、名古屋大学

参加機関：新潟大学、筑波大学、お茶の水女子大学、横浜国立大学、立命館大学、大阪大学、神戸大学、兵庫県立大学、沖縄科学技術大学院大学

その他の機関とも連携し、地域に根差した活動を展開

■12大学の活動

✓ 活動システムの構築

- ・規模（学生数等）が異なる機関が連携する仕組み
- ・設置が異なる大学（国公立）が連携する仕組み
- ・遠隔地（北海道～沖縄）の機関が連携する仕組み

✓ プログラムの共有

- ・トランスファラブルスキル向上プログラムの共有
- ・企業と博士人材のマッチングイベントへの学生の相互参加（年間9回実施）
- ・博士向け教育動画の共有（100本以上のアーカイブ）

✓ 博士人材育成ノウハウの共有

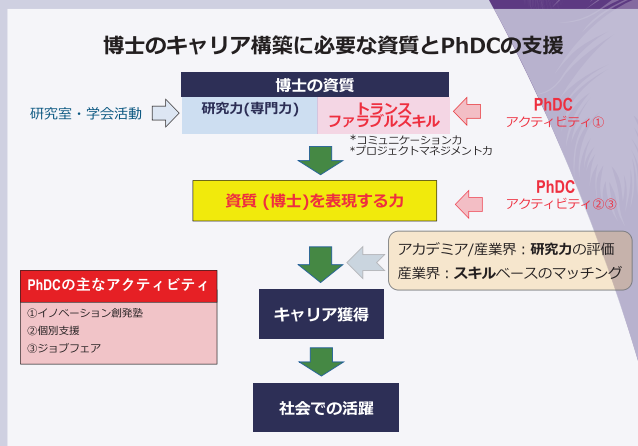
- ・プログラムへの教員および学生の相互参加
- ・各大学代表者による専門委員会の開催
- ・連携大学および企業等によるシンポジウムの開催
- ・連携大学および企業等による博士人材育成支援に関する研究会の開催





私たちが目指していること

- 皆さんが博士課程修了後のキャリアを、具体的に思い描けるようになること。
- 皆さんが、研究力に加えて、博士に必要とされる様々な資質を身に付けること。
- 皆さんが社会に受け入れられ、博士としての今後の人生がより充実したものとなること。



博士としての人生をより充実したものにするためのキャリア支援

イノベーション創発塾

マネジメント力・コミュニケーション力などを鍛えながら創造性を養う講座です



＝カリキュラム構成＝

- 科学と社会
- 戦略的キャリアデザイン
- 人間理解とコミュニケーション
- Research Integrity (誠実な研究) とはなにか
- プロジェクトマネジメントの基礎
- 研究の中のトランスファラブルスキル

個別支援

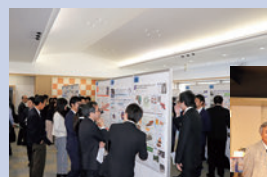
一人一人の事情に合わせた支援を行います



- 個別支援
 - 進路相談
 - 就職活動支援：ES、研究概要、面接、模擬授業等の相談
- インターンシップ支援
(中長期(1-3か月)の研究インターンシップ)

フェア&セミナー

キャリアパスを決定するための人脈形成・情報獲得の場を提供します



- ジョブフェア (企業等とのマッチングイベント)
- キャリアセミナー (ケーススタディ)
- インターンシップセミナー (ケーススタディ)



博士・ポスドクのキャリア支援

東北大学高等大学院機構 大学院改革推進センター
博士人材育成ユニット

— PhD Career Development Unit —

URL : <https://pgd.tohoku.ac.jp/phdc/>
E-mail : high-ca@grp.tohoku.ac.jp
Tel : 022-795-3231

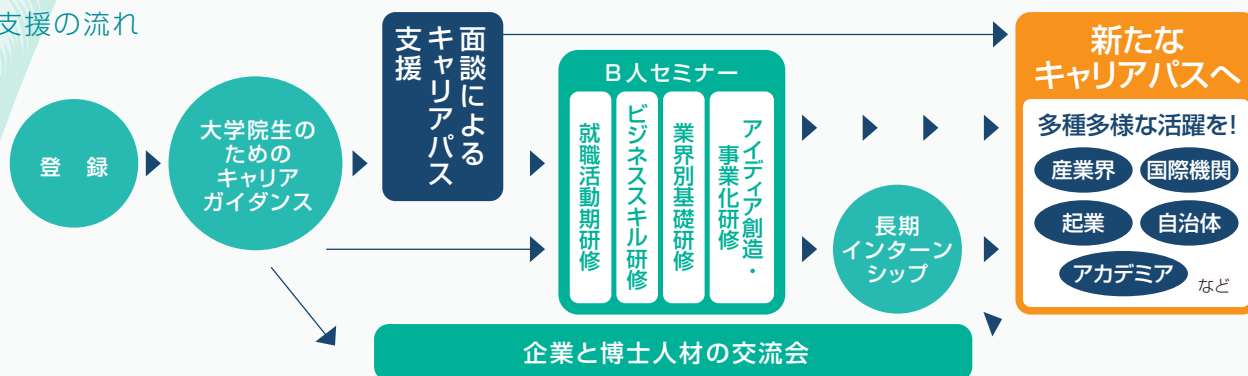
PhDC Home



名古屋大学 博士課程教育推進機構 キャリア教育室では、博士後期課程学生を中心とした若手研究者のキャリアパス支援（個人面談、セミナー、博士のインターンシップ支援、企業との交流の機会提供）を実施しています。

個々がこれからの人生で貢献したいことは何かを検討し、それが実現できる職につけるよう支援していきます。

支援の流れ



キャリアガイダンス及び個人面談

毎月実施しているキャリアガイダンスの受講をお勧めしています（他大学からの参加可）。その後、希望者には個人面談によるキャリアパス支援を実施しています。

個人個人に応じた支援ができるよう、個人面談を重要視しています。面談やメール相談を繰り返し、キャリアプランを明確にしていきます。

企業と博士人材の交流会

●PRセッション

博士たちが、多様な分野の企業の方に、研究内容の発表を通じて、自身をアピールします。常日頃交流の少ない企業-博士間における“異業種交流”でもあります。自身の研究の価値を見直し、キャリアプランを考えるきっかけにも役立ちます。

また、参加企業各社によるPRスピーチで、博士に求められる人材像や新たな業界を発見していきます。

●交流セッション【他大学からの参加可】

各企業から詳細な企業説明を聞き、質疑応答を行います。

これらをきっかけに、多様なキャリアを検討し、only oneのキャリア形成につなげていきます。



プロフェッショナル・リテラシー

トランスファラブルスキルズと呼ばれているどの業界、職種でも必要であろうといわれている基礎的なスキルの基盤となる講義です。

体験型講義「リーダーシップ」「チームビルディング」「マネジメント」「エンプロイアビリティ」

研究分野を超えて求められる基本概念を体験を通して習得する講義です。価値を創造し、現実解を創出するためになる資質・能力を醸成します。

B人セミナー

（大学院生に必要な情報やスキルを得るセミナー）

ポストドクター・大学院生であれば、どなたでも参加可能です。博士の持っている力を自覚し、新たに習得し、その力を活用できる業界や分野についての情報を得ることが目的です。なお、セミナーの事前参加登録と併せて当室への登録が必要です。以下のカテゴリーを表示し開催されるので、自らの興味や必要性に応じて受講してください。

- | | |
|--------------|-------------------|
| I. 就職活動期研修 | II. スキル研修 |
| III. 業界別基礎研修 | IV. アイディア創造・事業化研修 |



その他の支援

- 博士のインターンシップの支援、OBOG座談会、学内外の多様なセミナー情報提供など行っています。





新潟大学における博士人材キャリア開発

新潟大学では博士人材のキャリア開発を支援するため令和2年度より経営戦略本部の中に PhD リクルート室を立ち上げ、活動を開始しました。当室では今後、博士課程学生（DC）や博士研究員（PD）の主に産業界へのキャリア形成を支援するプログラムを推進していきます。

①産業界の実際を知るための講義やセミナー

産業界で活躍するのに必要な知識やスキルを提供するとともに、産業界から博士人材に発信される各種の情報をリアルタイムに提供していきます。

②企業人との情報交換ができる交流イベント

産業界での活躍を望む博士人材と博士人材を採用したい企業担当者との直接的な情報交流会を開催します。企業からのアプローチとともに博士人材からの自己アピールや直接の意見交換会などを計画しています。

③企業を実感するジョブ型インターンシップ

中長期インターンシップは産業界の実態を知るためにも企業の風土が自身に合っているかも確かめる上でも貴重な経験となります。



④博士進学者を支援するフェローシップ

多くの優秀な学生が博士課程に興味を持ち、率先して進学してこれる体制を強化します。これにより、魅力ある博士課程の構築していきます。

令和3年度
単位化!



産業界でもアカデミアでも
活躍できる博士人材の育成

国立大学法人 新潟大学 経営戦略本部 PhDリクルート室

〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050番地
自然科学研究科内

TEL : 025-262-7217
E-mail : phdrecruit@gs.niigata-u.ac.jp
URL : <https://www.phd.niigata-u.ac.jp/>



人文社会
ビジネス科学
学術院

博士人材

筑波大学は「研究型総合大学」として日本のみならず世界をも牽引する使命を担っています。「研究」を通して培ったトランスファラブル・スキルを駆使し、イノベティブに活躍できる人材を社会とつなげます。

理工情報
生命学術院

各関係部署

人間総合
科学学術院

筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター（DACセンター）／就職課では、学群・大学院（前期・後期）・ポスドクに対し、各教育組織と連携し、全学的なキャリア形成支援を行っています。博士号ホルダーや博士課程で学んだ人材は、特に「知のプロフェッショナル」として産業界からも高い評価を得ています。DACセンターでは産業界との強いコネクションを生かし、大学院生・ポスドクと産業界をつなぐ機会の提供や、本学で学んだ人材の価値を社会へ積極的に発信しています。

■具体的な取り組み■

- 学内の各教育組織との連携
- 産学協働イノベーション人材育成協議会への参画及び研究型インターンシップの推進
- 大学院共通科目「博士のキャリアパス」の開講
- 個別キャリア相談
- 企業開拓 など



国立大学法人 筑波大学 ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリア（DAC）センター／学生部就職課
E-mail : career@un.tsukuba.ac.jp <https://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/career/>



お茶の水女子大学

「学ぶ意欲のある全ての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する」を標語として掲げるお茶の水女子大学では、博士人材のキャリア形成・就職支援を、全学的な協力体制の下に行なっています。

学生・キャリア支援センターと人間文化創成科学研究科との連携体制の下、進路に関する相談からマッチングまでをワンストップで行なう相談窓口を常設すると共に、「博士人材のためのキャリアガイダンス」、「就職支援ワークショップ」、「研究インターンシップ紹介」等を行い、博士人材のキャリア形成をトータルに支援する体制を整えています。

中でも「Work In Progress」は、女性博士人材と企業等との交流イベントとして、女性の中長期的なキャリア形成を支援する企業・団体を中心にお招きし、他学の女性博士人材・ポストドクターにも開かれたイベントとして開催しています。

博士人材のための、 キャリア・就職支援体制

人間文化創成
科学研究科



学生・キャリア
支援センター

支援メニュー

- キャリアガイダンス
- ワークショップ
- 研究インターンシップ
- Work In Progress
～女性博士人材と企業等
との交流イベント
- キャリア相談

2020年、文部科学省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ事業」に採択されました。

● Work In Progress ●
～女性博士人材と企業との交流イベント～

13:35 企業セミナー 企業PR動画と対話する内容で、各企業から各分野の博士・研究員や博士人材への期待についてお話しします。

14:45 プレゼンテーション 各企業から各分野の博士・研究員や博士人材への期待についてお話しします。各企業から各分野の博士・研究員や博士人材への期待についてお話しします。

15:45 個別説明会 各企業から各分野の博士・研究員や博士人材への期待についてお話しします。各企業から各分野の博士・研究員や博士人材への期待についてお話しします。

※2020年度は、オンラインで開催いたしました。

お問合せ先

学生・キャリア支援センター
docca-all@cc.ocha.ac.jp



お茶の水女子大学

YNU 横浜国立大学 YOKOHAMA National University

横浜国立大学では、研究を続けたいと考える学生が安心して博士課程（後期）に進学できるよう、学位取得後の進路を支援するドクターキャリア開発事業を行っています。これは、博士課程に進学した優秀な人材が、アカデミアだけでなく幅広く社会で活躍できるよう、社会や企業との橋渡しをするものです。進学後の多様なキャリアパスを提示することで、博士課程進学に対するハードルを下げ、進学者数の増加を促し、結果として高度教育人材の社会への輩出と人材の流動化により、科学技術イノベーションの創出につなげていきたいと考えています。

キャリア開発支援プログラム

当センターでは、博士人材と社会・企業を結ぶ架け橋としてのイベント『キャリアパスフォーラム』の他、以下の支援プログラムを実施しています。

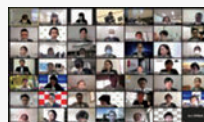
- 1) 『ドクターキャリア相談室』: 博士課程（後期）への進学や学位取得後の就職など、広く進路に関する相談を受けています。
- 2) メールマガジン『Dキャリア情報版』: 博士人材のための就職情報やインターンシップ、セミナー情報などを登録者に対しメールマガジン（不定期）で届けています。
- 3) その他、学内イベントやオンライン講座を開催しています。

キャリアパスフォーラム〈オンライン〉

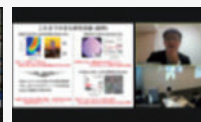
※他大学から参加可

博士人材を求める企業と、企業への就職を希望する博士課程（後期）の学生が互いのマッチングを図る交流会です。

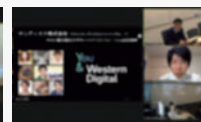
- Dr.プレゼンテーション 専門・研究内容だけでなくスキル・アピールポイント等をプレゼンし、企業の方とディスカッションを行います。
- 企業セミナー（動画） 各企業より、博士人材に求める人物像、活躍できるフィールド（業務、事業領域）を含めた会社紹介動画を提供頂き、事前視聴します。
- 個別相談会 企業毎に個別ルームを設け、時間を区切った相談会を複数回行います。個人にマッチした業務内容の紹介など、踏み込んだ情報交換が可能です。



2020年度開催の様子



Dr.プレゼンテーション



個別相談会

学内イベント

学内の博士課程生を対象に、互いの情報交換や就職の決まった先輩の話を聞く『YNU博士のオンライン交流会』、企業の求める博士人材について知る『ドクターキャリア・オンライン説明会』、博士人材への期待が大きい業界団体と協力して行う『業界研究セミナー』などを開催しています。



国立大学法人 横浜国立大学

〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1 本部西棟 N2-3
電話：045-339-4476 E-mail: pdinfo@ynu.ac.jp URL: https://www.cseg.ynu.ac.jp/dcd/

地域連携推進機構 成長戦略教育研究センター
ドクターキャリア開発担当

登録随時受付中→
（対象: 本学大学院生）

Dキャリア情報版登録



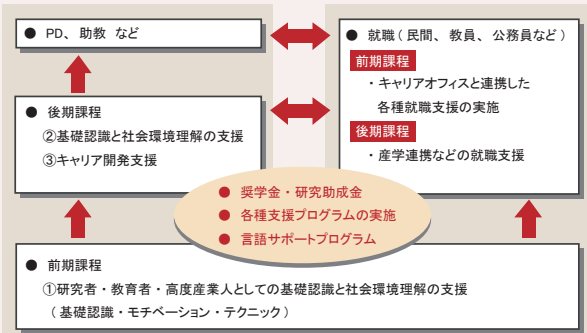
facebook





大学院キャリアパス支援プログラム

立命館大学大学院キャリアパス推進室は、博士課程前期課程・後期課程の大学院生の「研究・教育・専門性の向上」、「キャリア開発力の向上」、「社会課題解決力の向上」を目的として、キャリアパス形成に必要な知識・スキルを身につけるために大学院キャリアパス支援プログラムを実施しています。



立命館大学 大学院課 TEL：075-465-8195

立命館大学大学院キャリアパス推進室 http://www.ritsumeikan.ac.jp/ru_gr/g-career/

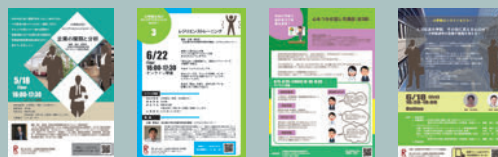
※掲載内容は2021年度の概要です。最新・詳細内容は必ず各募集要項や本学ホームページを参照してください。



目指すキャリアと支援プログラム

マインド育成・基礎知識の習得など力量形成

研究倫理プレセミナー / 研究倫理共通セミナー、キャリアマネジメントセミナー、オンライン英語論文個別指導、心をつかむ話し方講座 など



目標とするキャリアに応じた知識習得・スキルアップ

大学教員準備セミナー、学振申請ガイダンス、博士と企業のマッチングセミナー、リサーチプロポーザルコンテスト、大学院生懇談会 など



詳細は **立命館 キャリアパス** 検索

大阪大学 キャリアセンター

大阪大学 ワニ博士
リクルートスーツの頃

学部生から
博士後期課程の
大学院生まで



阪大生のための キャリア教育・支援の ワンストップ窓口

各種キャリア教育・支援に取り組んでいます。

大阪大学キャリアセンター office@career.osaka-u.ac.jp ※受付時間(平日 8:30-17:00)

【吹田キャンパス】〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-1 (IC ホール 1 階) 06-6879-7087

【豊中キャンパス】〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町 1-10 (学生交流棟 2 階) 06-6850-6115

—博士人材キャリア・就職支援—

神戸大学キャリアセンターでは博士学生にむけて各組織、他大学との連携を強化しながら、様々なイベントや個別相談を通して、個々の学生のキャリアパスを支援しています。

■キャリアガイダンス

多様なキャリアパスを考える博士ガイダンスをはじめ、博士向け就職活動方法ガイダンスなどを開催。

■博士専用相談室

博士学生・研究員・博士に進学を予定している学生向けの相談室を設置。交流会等を実施。

■個別ヒアリング

博士学生に聞き取りを行い、ニーズを把握し、適切な支援に繋げる。

■他組織との連携
V. School

博士の価値創造を考える学生交流サロンの開催、異分野思考トレーニングの企画。
大学教育推進機構
アカデミア就職を支援するセミナー実施への協力。

■博士学生と企業との
交流会

多くの企業と交流を通し異分野に触れ、研究の視野を広め、就職に繋ぐ機会

■中・長期研究
インターンシップ

研究インターンシップ、ジョブ型インターンシップをコーディネート、支援。

科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロースhip事業
神戸大学博士学生プロジェクト研究制度



博士学生に必要なスキルの養成およびキャリア観の醸成を図り、世の中に求められる人材を輩出



Initiative for Excellence
卓越研究のイニシアティブを



神戸大学キャリアセンター

<http://www.career.kobe-u.ac.jp/>

E-mail : stdnt-shushoku@office.kobe-u.ac.jp TEL : 078-503-5217



兵庫県立大学
UNIVERSITY OF HYOGO

博士人材キャリア開発プログラム

兵庫県立大学 産学連携・研究推進機構では、博士前期・後期課程の学生、ポスドクを対象として、博士人材キャリア開発プログラムを実施しています。令和3年度より「ひょうご創生フェロースhip」、「異分野融合教育」を新たに開始します。産業界の研究者・技術者、異分野の研究者との交流によって、広い視野を持った博士人材を育成します。

ひょうご創生フェロースhip・異分野融合教育

兵庫県立大学が強化していくAI・情報、マテリアル、ライフサイエンスの3分野の博士後期課程学生の経済支援と異分野融合教育を行います。研究活動に専念できる環境下で、充実した研究生生活を過ごしてください。

博士人材と企業の交流会

北海道大学・東北大学・名古屋大学、大阪市立大学・大阪府立大学等の連携大学と協力して、博士人材が企業と交流する場を提供しています。企業の方々との意見交換から、企業のダイナミックな活動を実感して下さい。

産学連携実践講義

大企業、中堅企業、ベンチャー、公共団体のCEO、研究部門トップ、代表等の多彩な講師から、講師のキャリアと業界の現状を講演してもらいます。イノベーションの起きている社会の中で自分のキャリアを考えましょう。

ひょうご創生フェロースhip

異分野融合教育

インターンシップ

博士人材と企業の交流会
キャリアセミナー

産学連携実践講義

キャリアガイダンス

プログラム説明会

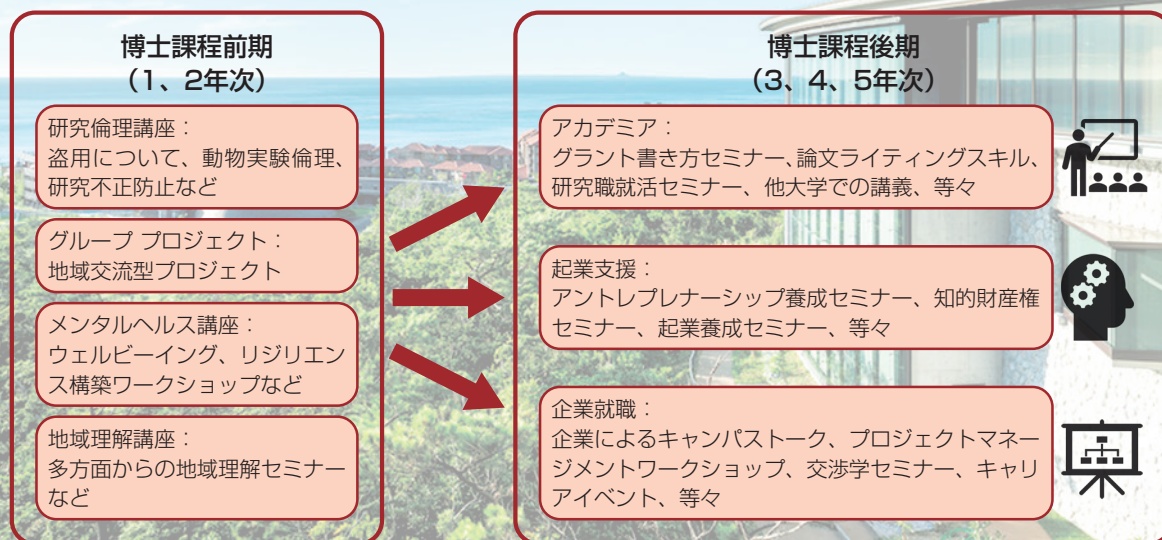
産業界・アカデミアで活躍できる人材



沖縄科学技術大学院大学 (OIST)

本学では、世界トップクラスの研究者を育成するとともに、地域貢献志向型の人材を輩出することを目的としております。博士課程前期では研究倫理に加え、地域理解および地域交流・地域貢献にフォーカスした講座を提供しております。また、学生のメンタルヘルス支援にも重点をおき、本学生が安心して5年間の博士課程を終えることができるよう充実した支援を行っております。

博士課程後期では、学生のキャリアパスに沿ったスキルトレーニングを提供しており、アカデミア、起業、企業就職希望の3つのキャリアパスにおける支援体制を設けております。



■運営協議会事務局

北海道大学 人材育成本部 連携型博士研究人材育成推進室

〒060-0812 北海道札幌市北区北12条西7丁目
中央キャンパス総合研究棟1号館

TEL 011-706-2352 FAX 011-706-3692

E-mail : cofre@synfoster.hokudai.ac.jp URL : <https://cofre.synfoster.hokudai.ac.jp>

■各機関事務局



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY



次世代研究者育成担当（助教）

北海道大学 人材育成本部

連携型博士研究人材育成推進室

〒060-0812

北海道札幌市北区北12条西7丁目

中央キャンパス総合研究棟1号館

TEL 011-706-2352

FAX 011-706-3692

E-mail : cofre@synfoster.hokudai.ac.jp

URL : <https://cofre.synfoster.hokudai.ac.jp/>

総合イノベ人材育成担当（DC・PD）

北海道大学 人材育成本部

連携型博士研究人材育成推進室

〒060-0812

北海道札幌市北区北12条西7丁目

中央キャンパス総合研究棟1号館

TEL 011-706-3195

FAX 011-706-3584

E-mail : cofre@synfoster.hokudai.ac.jp

URL : <https://cofre.synfoster.hokudai.ac.jp/>



TOHOKU
UNIVERSITY

東北大学

TOHOKU UNIVERSITY



次世代研究者育成担当（助教）

東北大学学際科学フロンティア研究所

〒980-8578

宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-3

TEL 022-795-5755

FAX 022-795-5756

E-mail : conso@fris.tohoku.ac.jp

URL : <http://www.fris.tohoku.ac.jp>

総合イノベ人材育成担当（DC・PD）

東北大学高等大学院機構

大学院改革推進センター

博士人材育成ユニット

〒980-8579

宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-11

TEL 022-795-3231

FAX 022-795-3232

E-mail : high-ca@grp.tohoku.ac.jp

URL : <https://pgd.tohoku.ac.jp/phdc/>



名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY



次世代研究者育成担当（助教）

名古屋大学国際高等研究機構

高等研究院

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町1番地

TEL 052-788-6051

FAX 052-789-2041

E-mail : nu-iar@adm.nagoya-u.ac.jp

URL : <http://www.iar.nagoya-u.ac.jp>

総合イノベ人材育成担当（DC・PD）

名古屋大学 博士課程教育推進機構

キャリア教育室

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町1番地

TEL 052-789-4914

FAX 052-789-4647

E-mail : hakase-career@adm.nagoya-u.ac.jp

URL : <https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/>